

住民1人1人が住み良い町へ、  
みんなでつくっていかう新しい街  
「三豊市を！」

2005 → 10

たくま まさし

「3つの想い」

子どもの教育  
についてしっかり  
考えてほしいよな。

わたし  
鍵っ子なの

合併しても  
バレーは  
がんばるわよ。

もうすぐ定年。  
定年後は  
どなんしよう。

年金暮らしやけど  
ずっと家でいるのは  
つまらん。

身体障害者は  
どうしたらええの？

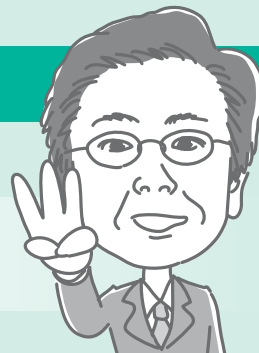
ぼくたち  
わたしたち  
幼稚園？保育園？

野球チームは  
なくなんないよね。

おじいちゃんも  
おばあちゃんも  
子ども達もみんな幸せに  
暮らせる市にしたいな。

農業は  
変わらんよね





想いその1

経済

地域が自立して、独自の財源を確保するために何をすべきかを考える。

想いその2

教育

住み良い地域にするために、未来の地域を担う人を育てるために何をすべきかを考える。

想いその3

安心

これから起こりうる自然災害や社会犯罪に対して何をすべきかを考える。



上記の3つの項目を柱として、各々の施策や事業が私たち市民の幸福な生活につながるよう、全力で取り組みます。一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

詫間 政司

番外 1 地域文化の振興

寛延三年(1750年)1月20日、作物の不作に加え厳しい年貢の取り立てに苦しんだ三野郡他三郡の百姓たちが『西讃百姓一揆』をおこしました。そのリーダーとなった大西権兵衛以下7名の義士が、丸亀代官所に直訴しましたが、権兵衛ら7人が責任を問われて処刑されました。7人は神社にまつられ、戦前まで権兵衛らの命日の祭りには史実を伝える素人芝居が上演されていました。豊中町では、この長く途絶えていた素人芝居を昭和59年、新たに「権兵衛まつり実行委員会」を組織し、七義士神社(権兵衛神社)の境内の一隅に舞台を設営して、地元の有志が上演していました。

権兵衛ら7人の自主・自立の精神を基本コンセプトとする演劇文化の拡大

伝えたいものは、自主・自立のコンセプト 自分達で獲得する心。

番外 2 政治倫理

倫理条例の制定  
(兼業禁止に係る条例)

平成9年12月25日付をもって「町の公共事業等に対する町議会議員の契約対象者除外に関する決議」が提出されました。これを受けて一番に考えなければならないことは、どうすれば住民からいただいた税金を、住民のために最も有効かつ明確に使われるのかという政策目標と入札落札業者選定方法の制度改革を推進することです。

番外 3 日本語と精神の継承

今では、国語の教科書から夏目漱石や森鷗外の記事が消えました。これでは祖師先哲の言葉も通じなくなる恐れがあります。私は言葉、言葉は歴史ですからこれは由々しい問題です。お寺で『日本語塾』でも開かないといけな時代でしょうか。先哲の言葉が理解できず、身にしみないとあれば、まぎれもなく現代において日本語とその精神は、死に絶える方向にあるといえるでしょう。

宗教界のネットワークによる古典・日本語の教育(日本文化・言葉の意味)

例:鎌倉市では毎週土曜日、お寺に子どもたちを集めて、著名人が日本の名作を朗読する会を開催しています。

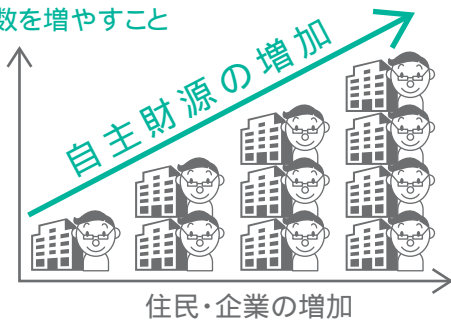
行政も  
お金がないと  
困るんです



## 自立した街にするためには、自主財源の増加がポイント。

新しい『三豊市』が中央政府に依存しないで、自立して機能的に動いていくためには、地方税などの自主財源の増加がもっとも大切になる。

自主財源を増加させるためには、住民と企業を増やすことが大切。



そのためには

他の自治体より住みたい、本社や支店を置きたいと思わせるように、税率を下げる。

雇用の受皿となり、地域経済を元気にする文化・歴史・伝統に裏付けられた地場産業と、地域密着型企業を育てること。



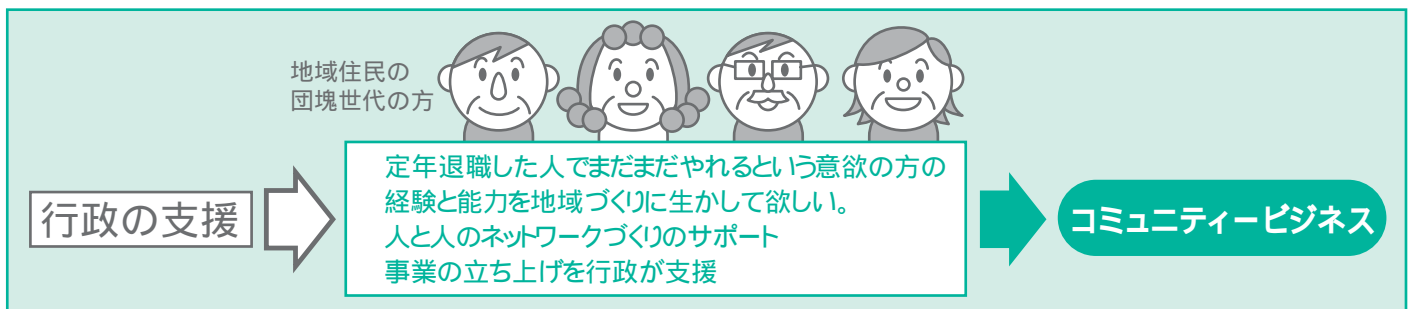
### 三豊市中小企業振興基本条例の制定

## 三豊市ならではの歴史と伝統に培われた、農業や地場産業、伝統工芸・文化財等の文化の力を生かす。

知的財産の集積地を目指す。諺間電波のIT先端技術、瀬戸内短大の福祉教育、笠田高校のバイオ研究と文化の融合世界を相手にした日本の伝統文化がテーマの観光地を目指す。外貨の獲得

## 地域問題の解決のために、コミュニティービジネス(NPOなど)を育てる。

地域の求める福祉サービスを利用者が自分で発見し、必要とする人が自分で運営する。行政からのサービスをただ消費するだけの存在ではなく、サービスを提供する側、地域をささえる側になってもらうことが大切です。そのため手段が「コミュニティービジネス」です。



地域の問題を解決して、雇用を生み出そう!



## 次世代を育てるための地域づくり、人づくり。

大人社会がどういう風に  
子どもを育てていくか

子どもを取り巻く大人が  
それぞれ自分の役割を果たす

子どもは大人の言う  
通りには育たない、  
大人のするように育つ

地域住民全体で子どもを育てて行こう!



### 提案その1

#### 幼保一貫教育と 学童保育の充実

共働きの夫婦が安心して子どもを預けられるように、保育園と幼稚園を一緒にした一貫教育を実施することで、幼児期におけるふさわしい生活を通して、基本的生活習慣の形成、道徳性の芽生えなど、小学校入学以降の生活や学習の基盤の育成を行いながら、長時間の保育も可能。

幼保一貫教育、それに続く学童保育制度が実現できれば、幼児期と小学校低学年の子どもを持つ若い世代の人たちに、『三豊市』に住み着いてもらえる。または、移住してもらえる。

税金を収める期間の長い若者が増えるので、自主財源の増加にもつながる。

高瀬高等学校・高瀬のぞみが丘中学校のような  
中高一貫教育のさらなる充実

### 提案その2

#### 特区『三豊市子ども条例』 の制定

地域分権の時代に、地域の子どもたちは地域の大人たちが責任を持って育てることを目的として、『三豊市』に合った独自の教育制度をつくる。

#### 三豊市子ども条例

##### 金沢市の例

##### 金沢子ども条例

子どもを取り巻く社会環境の変化に対応した新しい時代の子どもの育成について、基本理念、大人の責務、基本的な施策等を明らかにし、金沢コミュニティが一体となって子どもの育成に主体的に関わり、次代を担うすべての子どもの幸せと健やかな成長を図る。

「金沢子ども条例」の学校教育における具体化として「学校教育金沢モデル」として「学校2学期制」「小中一貫英語教育」「学習指導基準金沢スタンダード」が導入されています。

### 提案その3

#### 現代版 寺子屋の実施

小学低学年(1年～3年生あたり)は学校が終わるのが早い。

共働きの家庭では、子供の一人っきりの時間が増加(昔の鍵っ子)

#### 情緒面・能力開発・ コミュニケーション力の未発達

#### 現代版 寺子屋の設置

“文化は隔世遺伝”する  
視点からの発想

帰宅中は近所の公民館・自治会館  
などの公共施設で専任者による  
受皿づくり

学校では学べないことを教える

道徳学習  
神社・寺・教会などの  
宗教界のネットワークによる  
地域社会教育の充実

すべては新しい『三豊市』を、自立した住み良い街にするためのものです。

何かを言われる。」そんな考えを乗り越えて、共に地域性に富んだ独自の



# 安心 想いその3 安心



## 住民参加型で行う危機管理。

### 『三豊市』の新市庁舎の役割(公助)

単なる新市庁舎建設ではなく、警察・消防・災害対策本部などを集積する。危機管理において常により早く、より横断的に協調しあえる、中枢機能を集積する。安心のための施設づくりが目的。

特に新庁舎建設の財源は、安易な合併特例債のみではなく、経費の削減と財政運営の効率化と何より、人件費の削減によって確保することが大前提です。

### 自然災害への対処(自助・共助)

国・県・広域との連携を図った防災、教育施設の耐震化並びに危機管理計画、そして飲料水確保のための貯水槽の埋設事業などを実施。

さらに自主防災組織と避難訓練の充実も住民主導で実施。

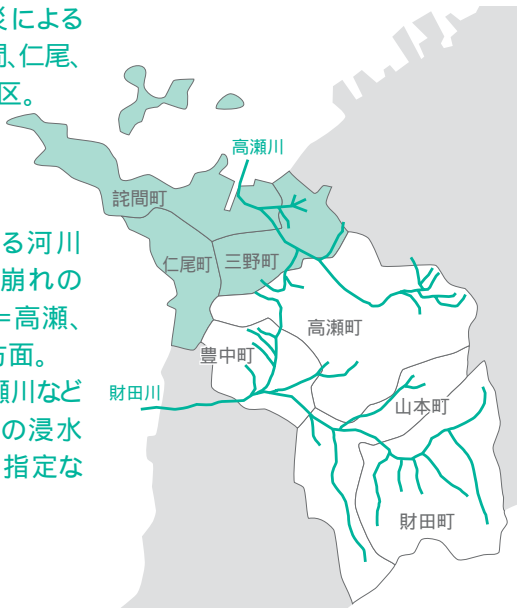


## 住民参加型で、新たな自治会の役割と、自治意識の向上を図る

### 各地域にどのような危機が起こりうるかを考慮した上で見合った対策を実施する

南海大震災による大津波=詫間、仁尾、三野方面地区。

風水害による河川氾濫と土砂崩れのための崩壊=高瀬、山本、財田方面。財田川、高瀬川などの合流地点の浸水想定区域の指定など。



### 近年増加している社会犯罪なども視野に入れた危機管理を実施

子供SOSを始め、家庭内DV現象、外国人犯罪など、ローカルでも充分発生可能な危険に対する保安体制。

また、近年増え続けている高齢者を標的とした新種の詐欺犯罪。その詐欺犯罪へ、いち早く対応するために、情報を収集して告知する。また、詐欺犯罪に対する高齢者の相談にも対応する。



パトロール強化も含めて緊急時での総合的な指揮系統の管理力強化。日頃から、一人暮らしの高齢者や体の不自由な住民との交流を深める機会の充実。

### 高齢者や障害者の安心できる仕組づくり

介護予防や家族支援事業等、地域の輪で取り組む。

# 新しい[三豊市]を築いていきましょう!



# 詫間 政司の活動状況

## 志保の会

自主決定、自己責任を大前提とした地域づくりに向け、「地域のことは、地域の人々が地域のために何が出来るか」を考える地域創りの会「志保の会」を開催しております。

### 活動報告 ~不働の滝コミュニティセンターにて~ H15.1.23 (第1回目)

地域づくりについて初めての会を開きました。

### H15.2.24 何故、合併なのか?

講師: 県政策部 細松次長

市町合併をどうとらえ、まちづくりにどう生かしていくかについて、住民の地域づくりについての考え方を伺いました。

### H15.4.23 企業と地域コミュニティの関わりについて

講師:(有)グリーンテック(リサイクル・廃棄物処理業)代表取締役 藤田謙二氏  
税収に頼る地方財源の確保が、人口の減少や経済環境の悪化などにより減少していくことが明確な中、企業として所有技術を地域コミュニティに有効利用していただき、地域財源の確保に貢献しようとする考え「企業と地域コミュニティの関わり」についてお話を伺いました。

### H16.5.20 地域再生について

講師: 香川制作総括主観 泉川雅俊氏

地域再生構想の作り方についてのお話を伺いました。

### H16.6.22 地域再成構想づくりに向けての素材の一つとしての七宝山を知る

講師: I大社S分院宮司 N氏

七宝山(志保山)の歴史についてのお話を伺いました。

### H16.11.19 財政と庁舎建設について

たくままさしからの報告

三豊市の財政健全化と庁舎機能について。

詳しくはホームページにて

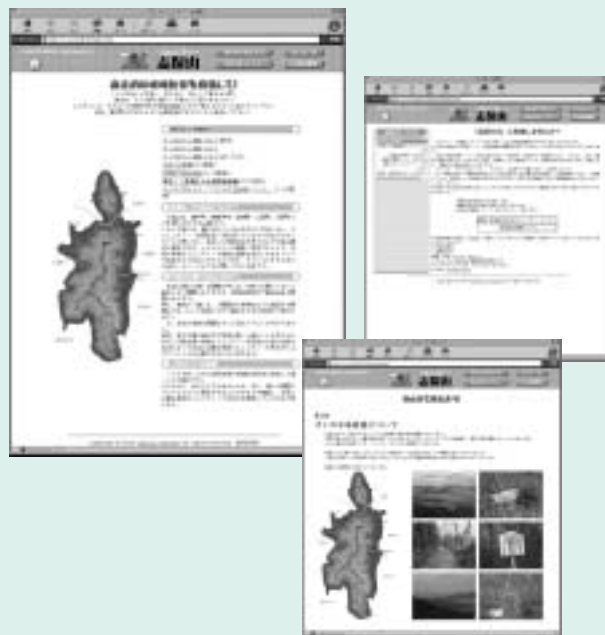
## ホームページ『コミュニティ志保山』

[www.8108.jp](http://www.8108.jp)

「人々がいきいきと交流し、支え合い、安心して暮らせる町」あなたは、そんな町に暮らしてみたいと思いませんか？

このサイトは、そのような理想の町を地域住民自らの力で創り上げようというサイトです。

地元、豊中の方はもとより近隣地域の方もどしどし参加してください。



## 経歴

- 1957年 (昭和32年3月15日) 豊中町岡本に生まれる。
- 1974年 県立高瀬高校卒業。
- 1978年 大阪経済大学 経済学部卒業。
- 1989年 大日本印刷(株)退職、家業の窯業を継ぐ。
- 2000年 桑山小学校 PTA会長。
- 2001年 香川県中小企業家同友会 三豊支部長、香川県中小企業家同友会 理事等に就任。
- 2003年 豊中町議会議員当選、桑山学童クラブ運営委員会会長。
- 2005年 総務文教常任委員長、現在に至る。

## 役職履歴

- 桑山小学校PTA会長
- 香川県中小企業家同友会理事及び三豊支部長
- 豊中町商工会会員
- 岡本焼保存会会員
- 豊中町議会議員(総務文教常任委員長)
- 桑山学童クラブ運営委員会会長

## 家族構成

父、母、妻、長女(中3)、長男(中1)

## あなたも「志保の会」に参加しませんか

志保の会は新しい地域創りに向けて「地域の人々が地位のために何が出来るか」を考える地域創りの会です。地域創りに関わりたいと思っている方ならどなたでも参加できます。詳しくはホームページをご覧ください。

## 詫間政司後援会

〒769-1507 香川県三豊郡豊中町岡本270 TEL 0875-56-6113 FAX 0875-62-5914 E-mail dokan@mx81.tiki.ne.jp

